



令和 8 年 8 月 12 日
午前・午後 2 時 21 分 受領

議長	事務局長	係
		

令和 8 年 8 月 12 日

愛南町議会議長 吉田 茂生 殿

愛南町議会議員 尾崎 恵一

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問の要旨	答弁を求める者
1. <u>米価の不安定化と農業用水施設の老朽化を踏まえた持続可能な農業振興について</u> <u>本町の農業は、人口減少や高齢化に伴う担い手不足に加え、肥料・農薬・燃料などの生産資材価格が高騰し、農業経営を取り巻く環境は厳しさを増している。</u> <u>こうした中、昨年は米価が改善し、長年厳しい経営を続けてきた稲作農家にも、将来への期待が生まれた。しかし、令和 8 年産米では JA の概算金が再び大きく下落する一方、生産コストは高止まりしており、農業経営の先行きは再び不透明となっている。</u> <u>米価が短期間で大きく変動し、安定した収入を見通すことができれば、農業を将来の仕事として選ぶ若い世代にとっても大きな不安要因となる。これは、農業後継者や担い手の確保という点からも、重要な課題であると考えている。</u> <u>また、農業経営を支える生産基盤にも課題がある。本町では、農業用水施設や用排水路など、整備から相当の年数が経過した施設もあり、一部地域では農業用水の供給に支障が生じる事例も見られる。今後、こうした施設の老朽化がさらに進むことを考えれば、計画的な点検や更新、長寿命化への対応が必要である。</u> <u>農業は、本町の地域経済や農地、集落を維持していく上でも重要な産業である。将来にわたって農業を持続していくためには、農業</u>	町長

経営の安定、農業生産基盤の維持・整備、そして次代を担う人材の確保・育成を一体的に進めていく必要がある。

そこで、本町農業の現状と課題を踏まえ、持続可能な農業の実現に向けた今後の取組について、以下の点を伺う。

(1) 本町農業の現状認識と課題について

- ・本町農業を取り巻く現状と課題について、町の認識とその要因に対する分析を伺う。

(2) 農業用水施設をはじめとする農業生産基盤の整備について

- ・農業生産基盤の老朽化の現状と、今後の計画的な維持・更新に向けた町の方針を伺う。

(3) 持続可能な農業振興に向けた今後の取組について

- ・本町の持続可能な農業の実現に向け、中長期的な展望に立った今後の農業振興策について伺う。